



挨拶

部活動指導員 糸尾 直記

今年度桜町高等学校バドミントン部部活動指導員の いとお なおき と申します。
下半期も引き続きバドミントンの技術的指導のみならず、チームや部員の皆さんの課題を共に解決し、共に成長していけるよう精一杯努力して指導にあたる所存です。
どうぞ、皆様のあたたかいご理解とご協力、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

『嶺桜』につきまして

部活動だより発行に際しまして『嶺桜（ミネサクラ）』と題し活動記録の更新をしていきます。
嶺桜は高い山の嶺に咲く桜であることから、部活動を通じた技術向上は勿論のこと、ひとり一人がこれからの生活において「ありがとう」をたくさん咲かせられるような、入部時よりも心身ともにステップアップしたところで咲き誇る桜町高校バドミントン部の皆さんであってほしいとの願いを込めたものです。
また、花言葉に絡めまして「微笑み」「心の美しさ」を大切にしたい指導を心がけていく所存です。どうぞよろしくお願い致します。

上半期の主な戦績

【東京都高等学校バドミントン新人戦Ⅰ部大会兼関東選抜大会都予選大会（個人・複）】

樋之口・中坂ペア 西ブロック3-1 3回戦進出

中村・田中ペア 西ブロック4-2 決勝進出（西ブロックベスト32）

【東京都高等学校バドミントン新人戦Ⅰ部大会兼関東選抜大会都予選大会（個人・単）】

樋之口 西ブロック1-1 3回戦進出

横江 西ブロック8-1 3回戦進出

練習試合を行いました

6月10日 松蔭中学校・高等学校

8月2日 東京都立上水高等学校

8月25日 東京都立大崎高等学校

8月28日 東京都立神代高等学校

9月18日 杉並学院高等学校

10月9日 東京都立松原高等学校

各校の生徒の皆さま、教職員の皆さま貴重なお時間をありがとうございました。
練習試合から合同練習まで、お気軽にご相談ください。

ミーティングを行いました

去る9月23日、部内ミーティングを行いました。本ミーティングは、（１）チームとして目指すべき目標の再確認（２）（１）に対して個人とチームの現在地とこれから についてをテーマに意思共有の場として行ったものです。以下はテーマを細分化した副題とそれに対してチーム全体での今後の目標や指針を取りまとめたものです。

* チームとしての目標について

個人・団体ともに**予選ブロックを勝ち抜く→決勝ブロックへの出場**（西ブロックベスト32以上）

* 部活の位置付けと出席率について

部活動とは学校教育の一環であり、基本的に学校の授業と同じ扱いです。

強い・弱い、できる・できないではなく**チームの目標実現のために行動しましょう**

* 練習姿勢について

×好き勝手にやりたいことだけやりたい時にやる

×個人競技＝好き勝手にやっていい

→部活という組織に属しているという自覚を持ちましょう。個人の目標があることは悪いことではありません。

頑張っている、のもう一歩先へ。もう1秒、もう一本を大切に積み重ねていこう。

きつい時こそ、みんなで同じ方向を向いて進んでいきましょう。**一緒だからチャレンジできる**

* 部活としての新たな取り決め

○**報告・連絡・相談を顧問の先生orコーチにしましょう**

→OBOGの来校、部活動の有無、怪我など

○**挨拶、集合は素早く気持ちよくしましょう**

→ストレッチなどのカウントはみんなで順に言うなど工夫して心身ともに高めていこう

○**部活中座らない、関係のないスマホの使用はやめましょう**

→中間コートで打つ、シャトル集め、声かける、審判をするなどせっかく来たのだからバドミントンに携わろう

○**メンバー入り問わず大会日はサポート、応援の為会場に来ましょう**

→誰かが勝手にやっているのではなくチームメイトが代表して戦っていることを忘れずに

○**怪我や打てない日でも原則参加です**

→チーム・仲間のために動ける人でいましょう

部活動というのは生徒主体のものであり、ひとり一人望んで参加しているものです。自らの責任と選択のもと、能動的に競技に取り組むバドミントン部として、チームとして成長してほしいと願っています。感染症の流行により社会はかつてないほどの生活様式の変化を求められてきました。従来、常識とされてきたものが非常識となり正解を模索する日々がいまだに続いているように思えます。時代に即した変化と柔軟性を大切にしつつ、部活動であるからこそ味わえる競技の面白さと、一つの物事を通して繋がることのできる他者との対話を大切にしていきたいと思っております。何とぞご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。